

分科会スケジュール

【1巡目 13:00~14:00】



＜子どもの貧困対策＞

「『子ども第一社会』づくりに向けて～子どもの貧困対策センターあすのばの取組み～」

一般財団法人あすのば 代表理事 小河光治氏

1965年、愛知県小牧市生まれ。8歳の誕生日に父が交通事故にあい8年間、寝たきりの末、他界。交通遺児育英会と日本育英会の奨学金で進学。明治大学卒業後、あしなが育英会に専従。神戸レインボーハウス館長、奨学課長、調査担当、子どもの貧困担当などを歴任し、2015年3月に26年間勤務したあしなが育英会を退職。福島大学大学院地域政策科学研究科修了。同年6月、子どもの貧困対策センター「一般財団法人あすのば」を設立し、代表理事に就任。



＜教育支援＞

「Teach For Japanの挑戦～教育格差の連鎖を断つ～」

認定NPO法人Teach For Japan 代表理事 松田悠介氏

日本大学を卒業後、体育教師として中学校に勤務。体育を英語で教える Sports Englishのカリキュラムを立案。その後、千葉県市川市教育委員会 教育政策課分析官を経て、ハーバード教育大学院(教育リーダーシップ専攻)へ進学し、修士号を取得。卒業後、プライスウォーターハウスコーパス株式会社 にて人材戦略に従事し、2010年7月に退職。Teach For Japan の創設代表者として現在に至る。日経ビジネス「今年の主役100人」(2014年)に選出。世界経済会議(ダボス会議) Global Shapers Community 選出。経済産業省「キャリア教育の内容の充実と普及に関する調査委員会」委員。奈良県奈良市「奈良市総合計画審議会」委員、「奈良市教育振興戦略会議」委員。共愛学園前橋国際大学「グローバル人材育成推進事業」外部評議委員。京都大学 特任准教授。著書に「グーグル、ディズニーよりも働きたい「教室」(ダイヤモンド社)」。



＜若者支援＞

「若者が希望を持てる社会を作るために～地域参加型高校づくりへの挑戦～」

認定NPO法人D×P(ディーピー) 理事長 今井紀明氏

1985年札幌生まれ。2010年立命館アジア太平洋大学卒業。

18歳のときにイラクで人質に。その後、大阪で専門商社での勤務を経て、現在は認定NPO法人D×P(ディーピー)の理事長を務め、通信制・定時制高校の生徒に向けたキャリア教育、若者支援事業を関西、北海道で展開する。2013年2月、ビジネスプランコンペedge2013にて「優秀賞」受賞。<http://www.dreampossibility.com/>

【2巡目 14:15~15:15】



＜フリースクール＞

「発達障がいを障がいと捉えないことから～フリースクールの現場から～」

NPO法人志塾フリースクール 理事長 山本了輔氏

1977年大阪生まれ。1997年志塾フリースクール設立、主宰。

2000年同志社大学文学部心理学専攻卒業。現在、NPO法人 志塾フリースクール 理事長、一般社団法人 青少年教育育成支援協会 代表理事、CAS株式会社代表取締役、など他9法人の代表または理事を務める。外部活動としては、西成区区政会議外部委員などを現在も務めている。



＜ひとり親支援＞
「ひとり親の現状と子どもへの応援」

NPO法人しんぐるまさあず・ふおーらむ 理事長 赤石千衣子氏

1955年東京生まれ。非婚のシングルマザーになり、シングルマザーの当事者団体の活動に参加。その後婚外子差別の廃止や夫婦別姓選択制などを求める民法改正の活動、反貧困ネットワークに関わる。反貧困ネットワーク副代表、社会的包括サポートセンター運営委員。『ふえみん婦人民主新聞』元編集長。



＜教育支援＞
「ボランティアによる学習支援の成功の秘訣」

NPO法人キッズドア 理事長 渡辺由美子氏

千葉大学工学部出身。大手百貨店、出版社を経て、フリーランスのマーケティングプランナーとして活躍。2000年から2001年にかけて、家族でイギリスに移住し、「社会全体で子どもを育てる」ことを体験する。

準備期間を経て、2007年任意団体キッズドアを立ち上げる。2009年内閣府の認証を受け、特定非営利活動法人キッズドアを設立。

日本の全ての子どもが夢と希望を持てる社会を目指し、活動を広げている。

【3巡目 15:30～16:30】



＜保育支援＞
「子育てを取り巻く社会課題を解決するフローレンスの取組み」

認定NPO法人フローレンス 経営企画室広報マネージャー 藤田順子氏

2010年より子育てと仕事の両立をはばむ社会課題の解決を軸に事業展開するNPO法人フローレンスに参画。2011年震災後には被災した中高生を支える学習支援事業「希望のゼミ」を立ち上げ・運営に携わる。広報部門のマネージャーとして子育てをとりまく社会課題を発信するとともに、子どもの貧困を防ぐひとり親支援などを支える支援者集め・資金調達を統括する。



＜地域支援＞
「地域で見守る、子どもたちの“学び・暮らし・未来”」

NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 理事長 栗林知絵子氏

東京都豊島区在住。6人家族で、大学生、高校生の男児2人の母。

2004年より池袋本町プレーパークの運営に携わる。自他共に認める「おせっかいおばさん」で、地域のおせっかいさんを繋げ、子どもの居場所を点在化することを目指している。「NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク」理事長。民生児童委員。

新潟県長岡市の豊かな自然と人に囲まれて成長した。その原体験が活動の源となっている。「はるまち」という冊子を仲間と発行。生活保護を利用して成長し、納税者となっている人が顔を出して当時の暮らしを紹介する。



＜食の支援＞
「子どもの居場所における食の重要性」

ライオンズクラブ国際協会 FWT330複合地区コーディネーター 小川晶子氏

1950年5月16日生まれ。東京都世田谷区出身。成城学園大学卒業。広島修道院孤児院にて奉仕活動。フォスター・ペアレントとして発展途上国の学力向上プログラム支援。

ライオンズクラブ国際協会において、15年間青少年育成を中心に数々のボランティア活動に参加。昨年秋からは、東京・足立区の【居場所】での食の支援に積極的に関わり、また、ヘレンケラーセンター「ランプの灯」という視覚障害者支援のためのボランティア育成講習並びに点字の普及に努めている。現在、ロイヤル開発株式会社代表取締役社長、株式会社岐阜稻ゴルフ俱楽部代表取締役社長、株式会社エラン(介護事業所)代表取締役、保険薬局事業協同組合理事、白寿生化学研究所顧問を務める。